

午後 試験

問 1 (システム化全体計画におけるシステムアーキテクチャについて) は、選択率が 3 問中で最も高く、ハードウェア、OS、DBMS、アプリケーション構造、開発方式、システム連携方式の変更など多岐にわたって論述がされていた。本問では、総合的に現状と対比した論述を期待したが、設計したシステムアーキテクチャの良さだけを論述しているものが多かった。

問 2 (リスクに対応する統制方針に基づいた情報システム構想の策定について) は、リスク統制方針に基づく情報システム構想の策定について比較的よく論述されたものが多かった。本問では、重要と考えて検討した点について、リスクが発生した場合の影響度や損害予想額、情報技術活用への投資額、運用体制などの実現可能性を論述することを期待したが、策定したシステム構想の解説に終始している論述も散見された。

問 3 (経営意思決定を支援するための情報システム構想の策定について) は、経営意思決定を支援するための情報システムにかかわる経験をしていることがうかがえる論述が多かった。しかし、多くの論述が、どのような意思決定が必要だったのかについては触れずに、依頼された情報提供の仕組みの検討を中心に論じていた。また、経営者が合理的な意思決定を行えるように工夫した点を述べている論述は少なかった。